

令和4年度(第24回)日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式
追悼のことば

令和5年3月25日

日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式の開催に当たり、林芳正外務大臣に代わり御挨拶申し上げます。

はじめに、今から78年前、それぞれの祖国のために、そして家族や大切な人々の幸せを祈りながらこの地で亡くなられた日米双方の兵士の御霊に対し、哀悼の誠を捧げるとともに、御遺族の皆様に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。

本日、私は、かつて日米両国が激しい戦闘を繰り広げたここ硫黄島に立ち、厳粛な合同慰霊追悼顕彰式に参列させていただき、今日我々が享受している平和と繁栄は、命を落とされた方々の尊い犠牲の上にあるとの思いを新たにいたしました。

一方、今日、我々は近年で最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。自由、民主主義、法の支配を含む共通の価値観で強く結ばれた日米両国が、インド太平洋地域及び国際社会の平和と繁栄を実現するべく、これまで以上に協力し、不断の努力を重ねていくことを改めてお誓い申し上げます。

本日の式典を主催された日米両国の硫黄島協会の皆様及び全ての関係者の皆様方の御尽力に厚く御礼申し上げます。また、改めて亡くなられた方々の鎮魂と平和を祈念するとともに、御参列の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

外務副大臣 山田賢司